

ミナミテナガエビ

5対ある脚のうち前から2番目がとても長いことから、「手長エビ」と呼ばれています。

体長は9 cm程度まで成長し、体色は茶褐色です。本種には、胸の横に太くくっきりした「m」字の模様があります。その他にも、ハサミには毛が少ないことで、ニホンテナガエビと区別することができます。

主に河川の下流域の流れの緩やかな石の下や水草に生息しています。

肉食性で、水生昆虫や小魚、動物の死体などを食べます。

繁殖期は春～夏です。孵化（ふか）した幼生は、汽水域（きすいいき）で降り、そこで生活し、変態後に河川を遡上（そじょう）します。



富士市での現状

富士川、富士早川の下流域で確認されました。

ミナミテナガエビを確認したメッシュ

